

緩い傾斜の変化への対応方法

本資料は、金網柵(格子金網)を例に、緩い傾斜地での対応方法の要点を補足することを目的としています。

金網の詳しい設置方法は、下記の資料を御覧下さい。
・金網柵(格子金網)の設置手順)



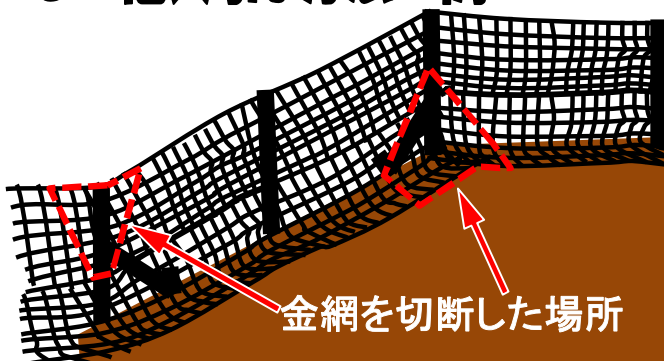
- 緩い傾斜の変化であれば、金網を切断する必要は無い
- 傾斜の変化点には支柱が必要
- 傾斜の変化や、コーナー部分は必要に応じて補助支柱を設置

- 金網を足で踏み、傾斜の変化になじませる
- 金網で踏んでいる間に、支柱と金網を固定する
(※ スパイクがついた靴は、金網を傷めることがあるので注意)



- 傾斜の変化に応じて、金網の横線を曲げると、傾斜に合わせて設置しやすい。

その他、対応方法の例



- 傾斜の変化が緩やかな場合は、金網の一部を切断して、傾斜に合わせることができる
- 切断箇所は、下図のように横線同士を結束する

